

結 果 の 要 約

- 1 平成17年10月1日現在の鳥取県の人口は607,012人で、前回調査の12年に比べ6,277人、1.0%減少している。
- 2 人口を市町村別にみると、鳥取市が201,740人(県人口の33.2%)で最も多く、次いで米子市が149,584人(同24.6%)、倉吉市が52,592人(同8.7%)となっており、最も少ないのは日吉津村の3,073人(同0.5%)となっている。
- 3 人口を男女別にみると、男性が290,190人、女性が316,822人で、女性が26,632人多く、人口性比(女性100人に対する男性の数)は、平成12年の91.7から91.6と低下している。
- 4 人口を年齢別にみると、15歳未満人口は84,823人(県人口の14.0%)、15~64歳人口は375,539人(同61.9%)、65歳以上人口は146,113人(同24.1%)となっている。これを平成12年と比べると、それぞれ、1.3ポイント低下、0.7ポイント低下、2.1ポイント上昇している。
- 5 15歳以上人口の配偶関係をみると、有配偶率は男性が63.0%、女性が56.6%、未婚率は男性が28.6%、女性が19.4%となっている。
- 6 県内に在住する外国人は3,853人で、平成12年に比べ792人、25.9%増加している。
- 7 鳥取県の一般世帯数は208,526世帯で、平成12年に比べ8,538世帯、4.3%増加している。また、一般世帯のうち1人世帯は52,804世帯(一般世帯の25.3%)と最も多くなっている。
一般世帯の1世帯当たり人員は平成12年の3.00人から2.83人と減少している。
- 8 世帯の家族類型をみると、核家族世帯は107,907世帯(一般世帯の51.7%)で、このうち夫婦のみの世帯は36,988世帯(同17.7%)、夫婦と子供から成る世帯は51,933世帯(同24.9%)となっている。また、単独世帯は52,804世帯(同25.3%)となっている。
- 9 65歳以上親族のいる一般世帯は94,634世帯(一般世帯の45.4%)で、このうち「一人暮らし高齢者」(65歳以上の単独世帯)は17,241世帯(65歳以上親族のいる一般世帯の18.2%)、高齢夫婦世帯^(注)は18,991世帯(同20.1%)となっている。
(注) 夫が65歳以上、妻が60歳以上の夫婦1組の一般世帯
- 10 住居の状態をみると、住宅に住む一般世帯の持ち家率は70.4%で、平成12年に比べ1.2ポイント低下している。また、住宅に住む一般世帯の1世帯当たり延べ面積は、平成12年の122.2㎡から121.2㎡と狭くなっている。

図1 鳥取県の人口及び人口増減率の推移（大正9年～平成17年）

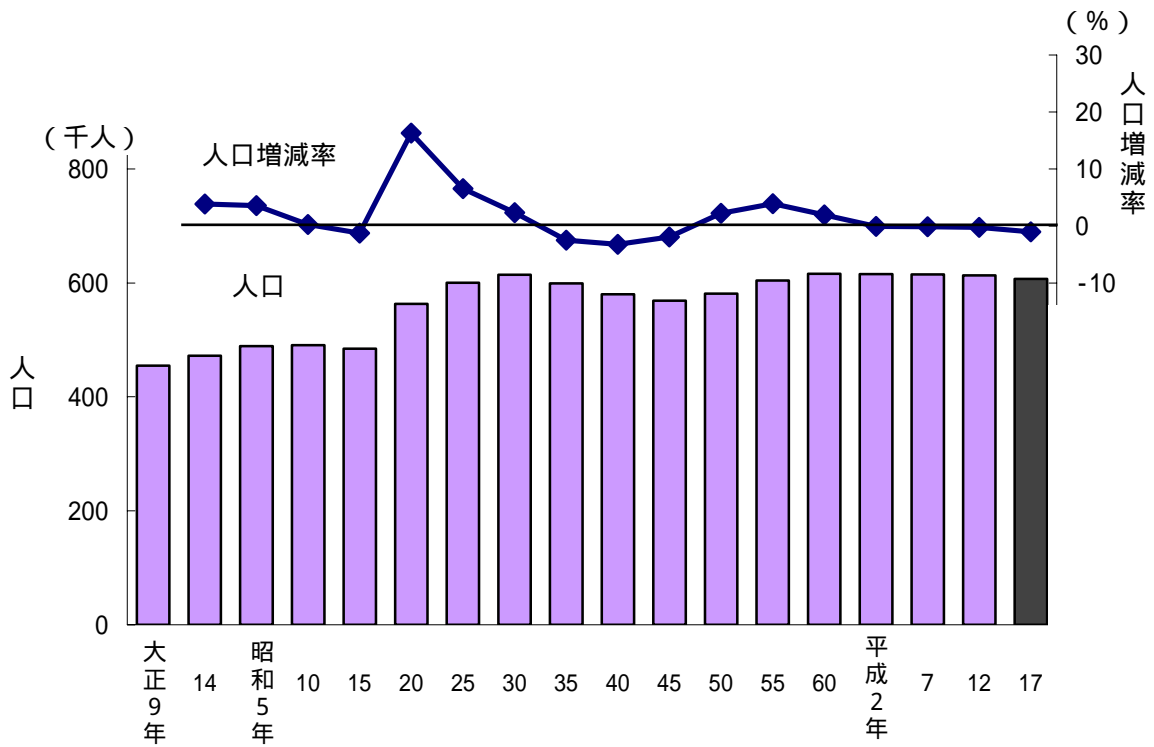


図2 鳥取県の年齢（各歳），男女別人口（平成7年・17年）

